

【別紙】

保全システム要求仕様書
(案)

2021年3月

NTTファシリティーズ

目次

1	はじめに	1
2	全体概要	1
2.1	システム導入の背景・目的・期待する効果	1
2.2	システム全体イメージ	2
2.3	導入計画（案）	2
2.4	管理対象施設	3
2.5	クライアント端末仕様	3
3	業務要求	4
3.1	システム利用範囲	4
3.2	規模	5
3.3	利用時期・利用時間	5
4	機能要求	6
4.1	機能一覧	6
4.2	対象データ	7
5	非機能要求（品質に係る要求）	8
5.1	信頼性	8
5.2	継続性	8
5.3	セキュリティ要求	8
6	ヒアリング結果まとめ	9
7	既存システムとの管理項目の比較	9
8	導入すべき保全システムの提案	10
8.1	システム比較	11
8.2	作成データとBIMMSの比較	11
8.3	機能要求とBIMMSの比較	12
9	参考	14
9.1	対象データイメージ	14

1 はじめに

本資料は、沖縄県病院事業局が所有する病院運営に係る一連のファシリティデータを一元管理し、保全業務の効率化を実現するための保全システムについて、要求仕様を整理した資料である。

※要求仕様書とは、「作って欲しいこと」が書かれた文書

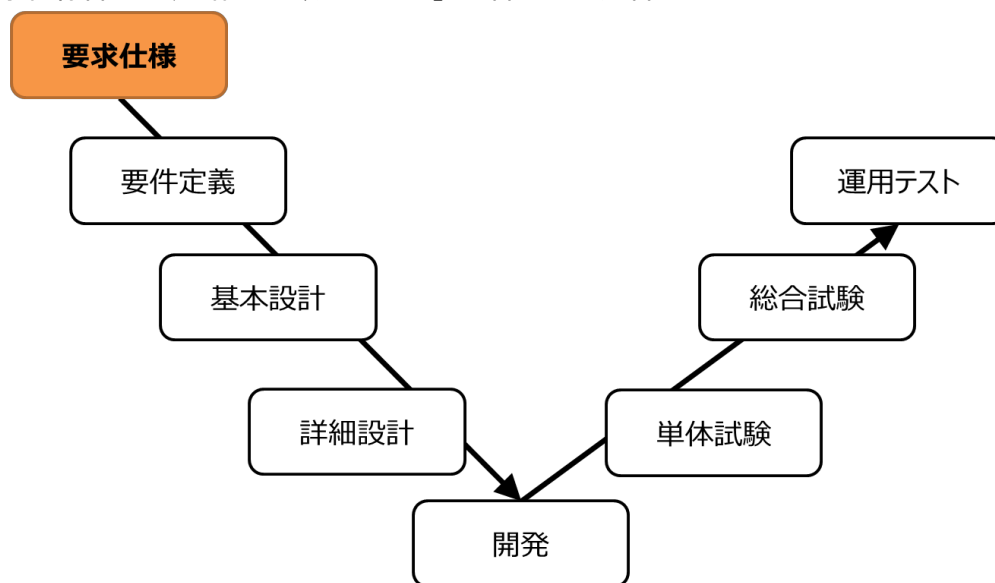


図 1 システム導入の流れ

2 全体概要

保全システムにおける全体概要を以下に示す。

2.1 システム導入の背景・目的・期待する効果

沖縄県病院事業は、昭和 47 年 5 月 15 日の日本復帰の日に琉球政府立病院を引き継ぎ、5 病院（名護、中部、那覇、宮古、八重山）、総病床数 865 床でスタートした。

平成 28 年 4 月の時点では、精神科病院 1 病院を含む 6 病院、15 の附属診療所、並びに付帯する医師住宅等を保有している。また、建物以外の施設として合計約 20 万㎡の土地を保有している。

これらの施設、土地など病院の全活動の基盤である「ファシリティ」の潜在的な力を発揮させるため、FM（ファシリティマネジメント）を導入し、建物劣化診断、中長期整備計画書、5 ヶ年整備計画書の策定など戦略的な病院経営を推進してきた。

これらの FM（ファシリティマネジメント）に関する一連のファシリティデータを、保全システムに取り込み、一元管理することで、保有する施設全体の状況把握、分析が可能となり、整備計画により適切な予防保全を実施していくことで、施設の長寿命化につながり、より一層の戦略的病院経営に貢献することを目的とする。

2.2 システム全体イメージ

システムの全体イメージを以下に示す。保全システムはWEBシステムとし、ブラウザによりアクセスを行う。システムは、クラウド上に構築、もしくは庁内サーバーに構築（オンプレミス）のどちらでもよい。また、パッケージに限らず、サブスクリプション型式によるサービス利用でもよい。

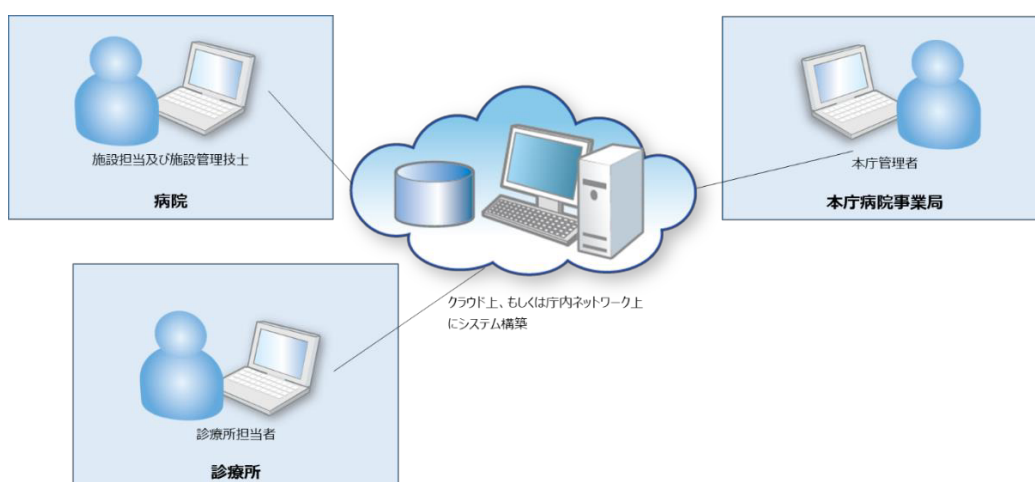


図 2 システム全体イメージ

2.3 導入計画（案）

2021年度中にシステム導入を行い、2022年度からの運用開始を目標とする。

システム運用開始前に病院、診療所担当者向けの説明会を実施する。

また、運用開始後、1年を目途にシステム導入の評価を実施する。

表 1 導入計画（案）

2021年度				2022年度			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
発注							
			システム構築、データ投入				
	システム導入						
	病院、診療所担当者向けシステム説明会		説明会			運用開始1年を目途にシステムの評価を実施	
				運用開始（2021年度1Q～）			

2.4 管理対象施設

保全システムの管理対象の施設は県立病院が所有する土地および建物とする。

表 2 対象施設

施設の分類		具体的な施設	施設の数量	
土地		<input checked="" type="checkbox"/> 現存する建物が位置する土地 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南部病院の土地 <input checked="" type="checkbox"/> 旧八重山病院の土地	284.3千㎡ (うち旧南部病院：47.0千㎡) (うち旧八重山病院：24.3千㎡)	
建物	病院	<input checked="" type="checkbox"/> 北部病院 <input checked="" type="checkbox"/> 中部病院 <input checked="" type="checkbox"/> 南部医療センター・こども医療センター <input checked="" type="checkbox"/> 宮古病院 <input checked="" type="checkbox"/> 八重山病院 <input checked="" type="checkbox"/> 精和病院	144.3千㎡	154.9千㎡
	住宅施設 ・医師住宅 ・看護師住宅 ・研修医宿舎	<input checked="" type="checkbox"/> 北部病院 <input checked="" type="checkbox"/> 宮古病院 <input checked="" type="checkbox"/> 八重山病院	5.9千㎡	
	診療所	<input checked="" type="checkbox"/> 伊平屋診療所 他15件	2.7千㎡	
	住宅施設 ・医師住宅 ・看護師住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 伊平屋医師住宅 他15件 <input checked="" type="checkbox"/> 伊平屋看護師住宅 他12件	2.0千㎡	

※診療所等については廃止・休止中のものを除く

2.5 クライアント端末仕様

PC：ノートPC (CPU：Intel Core i3-6100U(2.30GHz)、
HDD (SSD)：250GB、メモリ：8GB、
解像度：1,366×768)

OS：Windows10 Pro 64bit

ブラウザ：Firefox (最新版)、またはMicrosoft Edge (最新版)

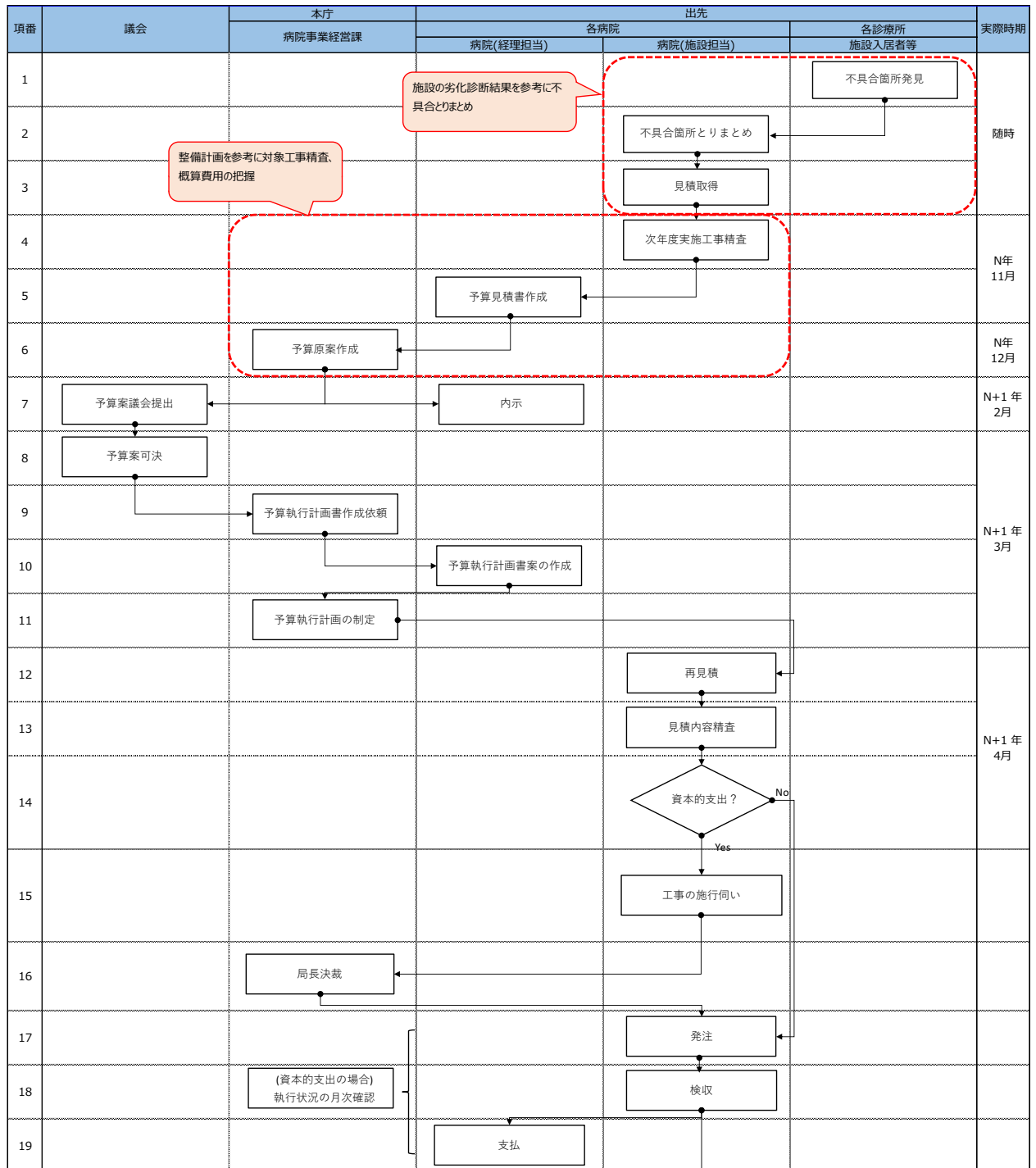
その他：Microsoft Office2016

3 業務要求

業務における要求事項を以下に整理する。

3.1 システム利用範囲

現状業務における、システム導入により業務効率化につながると想定される業務は以下の赤枠部分の通り。赤枠内の業務全てをシステム化するのではなく、業務で必要となる情報の収集、登録などを行い、業務の効率化、標準化につなげることを想定している。



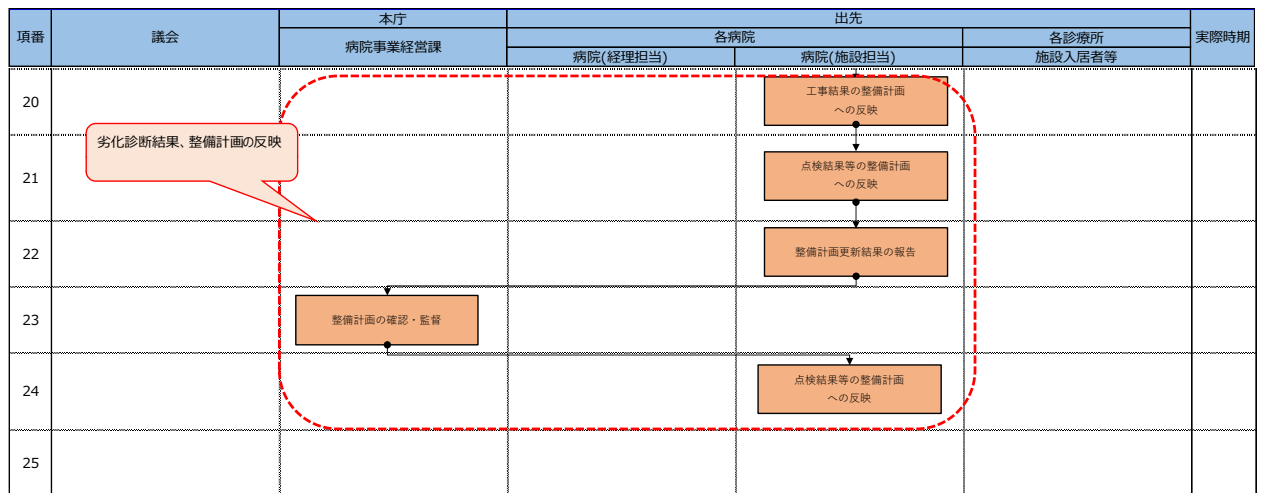


図 3 現状業務のシステム利用範囲

3.2 規模

想定するユーザーは最大 45 ユーザーを想定している。

- ① 県立病院の施設担当及び施設管理技士：編集権限
6 病院 × 4 人 = 24 ユーザー（1 病院あたり最大 4 名と想定）
- ② 診療所：参照権限
16 診療所 × 1 名 = 16 ユーザー（1 診療所あたり 1 名と想定）
- ③ 本庁：管理者権限
5 名 = 5 ユーザー

3.3 利用時期・利用時間

システムは、平日の就業時間内の運用を想定している。

- ① 利用時期：平日
- ② 利用時間：午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分（就業時間）

4 機能要求

保全システムの機能要求を以下に整理する。

4.1 機能一覧

保全システムに必要な機能は以下の通り。沖縄県病院事務局にシステム導入に関する要求事項のヒアリングを実施し、機能を抽出している。

「別紙-1. ヒアリング結果まとめ」参照

表 3 機能一覧

NO	重要度	区分	機能	理由
1	A	基本情報	施設台帳管理	保全システムの基礎情報のため必須
2	A	基本情報	建築部位・設備機器台帳	保全システムの基礎情報のため必須
3	B	保全情報	エネルギーデータ・コスト管理	八重山、精和病院以外はエネルギー管理指定工場として指定されているため、必要な取り組みは既 に実施しているため、あったら良い機能だが必須 ではない。
3	A	保全情報	詳細中長期保全計画（詳細LCC）	中長期整備計画を基に、5ヶ年整備計画を作成し ているため必須
4	A	保全情報	5ヶ年整備計画管理機能 （ファイルの保存、閲覧）	策定した5ヶ年整備計画に基に予算化するため必 須
5	A	保全情報	工事履歴情報管理	改修工事などを実施したら、中長期（短期）整備 費用や、劣化評価に反映していく必要があるため。 なお、工事情報は親病院側で入力する運用を想定 している。
6	A	保全情報	定期点検・保守などのス ケジュール管理	年1回などの点検は忘れる可能性があるため、点 検時期、対象建物などで絞り込みを行い、把握で きるようにする必要があるため。
7	A	保全情報	劣化診断結果管理	劣化診断結果を基に中長期整備計画を作成するた め必須
8	C	参照機能	図面管理	ファイル共有サーバーによる管理ができるため、 必須機能ではない。
9	C	参照機能	マニュアル管理	ファイル共有サーバーによる管理ができるため、 必須機能ではない。
10	A	メンテナンス機能	データ一括登録	導入時、および今後施設が追加の際に必須
11	A	メンテナンス機能	ユーザー管理	システム運用する上で必須
12	A	分析機能	検索結果をExcel一覧出 力	出力結果を基に分析、資料作成するため必須
13	B	連携機能	固定資産台帳との連携	振替伝票処理後に財務会計システムの固定資産台

				帳に反映する流れになっているため、システムへのデータ投入もれ、タイムラグによる集計値の違いが出る場合があるため。
14	B	通知機能	整備時期超過のアラート通知	整備を確実に実施していく必要があるため。

※重要度：A（必須）、B（あれば良い）、C（どちらでも良い）

4.2 対象データ

保全システムで管理する対象のデータは以下の通り。データは Excel ファイルとして管理している。運用開始までにデータ、およびファイルをシステムに移行する必要がある。

表 4 対象データ一覧

施設名称	調査等実施年	施設基本情報	劣化診断加付	調査シート	劣化状況写真帳	劣化位置図	主な整備履歴	修繕改修履歴一覧表	中長期整備計画	5ヶ年整備計画	数量単価根拠資料	設備機器一覧	備考
		資料1	資料2	資料3	資料4	資料5	資料6	資料7	資料8	資料9	資料10	資料11	
南部医療センター・こども医療センター	2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中部病院	本館	2015	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	別館（南病棟）	2015		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	資料棟	2015		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	新棟	2015		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
北部病院	本館	2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	看護師宿舎	2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	カルテ庫	2016	○	○	○	○	○	○					県の資産ではないが、北部病院にて利用しているため劣化調査は実施している
	隔離病棟	2016	○	○	○	○	○	○					
宮古病院	本館・附属棟	2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	屋外発電機室	2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	研修医等宿舎	2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	医師住宅	2019	○	○	○	○	○		○	○	○	○	資料 8～11については2020年度業務で作成中
	看護師住宅	2019	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
精和病院	本館・エネルギー棟	2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	リハビリテーション棟	2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
座間味診療所	診療所	2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	医師住宅	2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	看護師住宅	2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
多良間診療所	診療所	2019	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	資料 8～11については2020年度業務で作成中
	医師住宅	2019	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	看護師住宅	2019	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
粟国診療所	診療所	2018	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病院事業局様にて作成したものを、NTT-Fにて時点更新5ヶ年計画については、要協議
	医師住宅	2018	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	看護師住宅	2018	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※表に記載の資料 1～11 は「9. 参考」- 「9.1 対象データイメージ」を参照

5 非機能要求（品質に係る要求）

5.1 信頼性

信頼性について、以下に示す。

① システム運用における信頼性

ハードウェアなどを冗長化構成にするなど、サーバー、ネットワークに起因する障害が発生した場合でもシステム運用に影響を及ぼさないような構成とすること。

② 停電対策

停電時にサーバーが強制終了しないように、UPSを設置し、正常にシャットダウンできるようにすること。

③ 完全性

データの欠損、不整合が発生した場合にバックアップデータを基に復旧可能であること。

5.2 継続性

システムの継続性について以下に示す。

① バックアップ

データベース、および保存したファイルの日次バックアップを行うこと。バックアップは最大7世代分まで確保すること。

② 復旧

サーバー故障、およびデータ破損などが発生した場合は、24時間以内に復旧可能であること。

5.3 セキュリティ要求

セキュリティ要求について以下に示す。

① ログイン認証

ユーザーID、パスワードによるログインを基本とすること。また、パスワードは有効期限を設け、有効期限が過ぎたらパスワードを変更させること。

② 権限管理

管理者によるユーザーの追加、変更、削除ができること。

また、ユーザーへの権限付与、変更ができること。

※権限は管理者権限、編集権限、参照権限とする。

③ アクセス管理

ユーザーに対して利用可能な機能を制限できること。

④ ログ管理

不正アクセス対策として利用者のアクセスログを記録すること。

⑤ 暗号化

不正な傍受、改ざんを防ぐため、サーバー、PC間のインターネット通信は暗号化すること。

⑥ 不正侵入対策

外部からの不正侵入を防ぐため、ファイアウォールを設置すること。またサーバーにウィルス対策ソフトウェアを導入すること。

6 ヒアリング結果まとめ

沖縄県病院事務局にシステム導入に関する要求事項のヒアリングを実施した。

「別紙-1. ヒアリング結果まとめ」参照

7 既存システムとの管理項目の比較

保全マネジメントシステム（BIMMS）を参考とした、これまでのデータ項目（「4.2 対象データ」参照）との比較を整理した。

「別紙-2. 既存システムとの管理項目の比較」参照

8 導入すべき保全システムの提案

一般財団法人建築保全センターと営繕積算システム利用協議会（都道府県・政令指定都市）が共同で開発した保全情報システム（BIMMS）の導入を提案する。

メリットとして、50棟当たり8万円／年間と導入に係るコストが抑えられ、自前のサーバー設置が不要であり、インターネットに接続できる環境であればどこでも接続可能である点が挙げられる。

システム運用開始は2022年度初めを目標としており、BIMMSに加入することで、導入期間を短縮することができる。また、導入コスト、運用コストが抑えられるため、運用後のシステムの評価で仮に運用を取りやめることになっても、最小限の支出に抑えられる。

沖縄県病院事業局が保持しているファシリティデータは、建築保全センターの劣化評価の考え方、整備計画における更新周期、更新係数など参考にしており、親和性は高いといえる。

公開デモ版を申し込めば約50棟のサンプルデータが利用可能であり、導入前に予め機能、操作方法の確認を行うことが可能である。

デメリットとしては、サービス利用のため個別にカスタマイズすることができないことであるが、機能要求に対して概ね要求を満たしている（「8.3 機能要求とBIMMSの比較」参照）。

項目単位でみると、沖縄県病院事業局で保持しているファシリティデータとの差異が見受けられるが、必須項目の不足はなく、マニュアルなどによるデータ投入の取り決めをしておけば問題ないと考える。（「別紙-2. 既存システムとの管理項目の比較」参照）

以上のことから、保全システムの導入は、BIMMSの導入が望ましいと考える。

BIMMS(保全マネジメントシステム)の概要

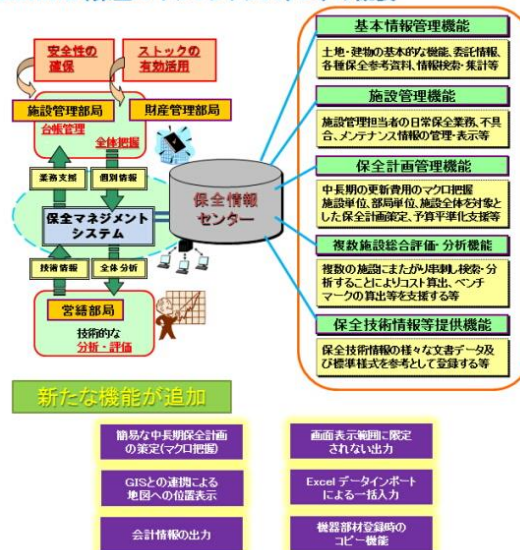


図 4 BIMMSの概要

一般社団法人 建築保全センターHP

「BIMMS(保全マネジメントシステム)・概要」から抜粋

<https://www.bmmc.or.jp/system1/system1-1/index.html>

8.1 システム比較

新規にシステムを開発し、庁内にサーバーを設置した場合とBIMMS導入した場合の比較表を以下に示す。BIMMSはインシタルコスト、ランニングコストを抑えることができるため、新規システム開発のケースと比べてメリットが大きい。

表 5 システム比較

NO	区分	項目	新規FMシステム開発	BIMMS利用	備考
1	ユーザー	ユーザー管理	○	○	新規：ユーザー管理機能により柔軟に対応可能 BIMMS：ユーザー管理機能により柔軟に対応可能
2	ハードウェア	サーバー構築	×	◎	新規：自前で構築が必要 BIMMS：クラウドサービスのため準備不要
3	ハードウェア	冗長性	○	◎	新規：サーバー構成による BIMMS：データセンターに構築
4	ソフトウェア	全般	◎	○	新規：必要な機能を最適なインターフェースで利用可能 BIMMS：必要機能は揃っているが、使い勝手は不明
5	ソフトウェア	拡張性	○	×	新規：導入以降も機能拡張することが可能（別途費用必要） BIMMS：他ユーザーもいるため、個別に拡張できない。
6	操作性	操作性	◎	△	新規：操作性を考慮した構築が可能 BIMMS：項目が多いため、習得に時間がかかると思われる。
7	ネットワーク	ネットワーク	庁内ネットワーク	インターネット	新規：庁内ネットワーク内のためセキュリティ上比較的安全 BIMMS：インターネット上のためセキュリティ上危険性があり
8	セキュリティ	セキュリティ対策	○	○	新規：庁内ネットワーク内なので、ある程度はセキュリティが守られている。セキュリティ対策を強化することは可能。 BIMMS：インターネットのためセキュリティ対策はされているが、インターネット上のため、不正アクセス等の危険性はある。
9	費用	インシタルコスト	×	◎	新規：30,000千円 BIMMS：50棟当たり約8万円/年 標準的なデータ利用量の場合
10	費用	ランニングコスト	×	◎	新規：保守内容による（別途費用必要） BIMMS：50棟当たり約8万円/年 標準的なデータ利用量の場合
11	保守	保守	△	◎	保守を外部委託する場合 新規：庁内サーバーにて保守作業が必要（別途費用必要） BIMMS：インターネット上での保守、費用は無料
12	保守	データ更新（外部委託）	×	◎	データ更新を外部委託する場合 新規：庁内サーバーにて更新作業が必要 BIMMS：インターネット上でデータ投入が可能
13	保守	データ更新（内製）	◎	×	新規：既存の調査報告書をそのまま流用できるよう構築可能 BIMMS：仕様にあわせてデータを投入する必要があり、既存データの調整が必要

※◎：特に良い／○：良い／△：悪い／×：特に悪い

8.2 作成データとBIMMSの比較

沖縄県病院事業局がこれまで整備したファシリティデータとBIMMSの機能比較を以下に示す。BIMMSの機能は作成したデータを満足しており、劣化診断カルテ、5ヶ年整備計画等は電子書庫機能に保存することで対応できると思われる。

作成データと既存システムの比較

※保全マネジメントシステム (BIMMS) 導入・活用事例集 FAQを参照

BIMMS機能				沖縄県立病院様 2014年度～2020年度に作成したデータ		
機能	備考	対応資料NO	資料NO	資料	資料	
基本情報管理機能	土地基本情報	資料1-1	資料1-1	基本情報	施設基本情報	
		資料1-2	資料1-2	土地情報		
	土地登記情報	資料1-1	資料1-3	建物情報		劣化診断カルテ
		資料1-2	資料1-4	仕様		
	建物基本情報	・建物外観写真を表示 ・地図は住所からGIS機能で表示	資料1-1	資料1-5	地図	
			資料1-3	資料2-1	建物写真	
			資料1-4	資料2-2	建物概要	
			資料1-5	資料2-3	劣化状況写真(抜粋)	
			資料2-1	資料2-4	評価結果	
	資料2-2	資料2-5	評価点グラフ			
	建物登記情報		資料1-3	資料3	調査シート	
	工事履歴		資料6-1	資料4	劣化状況写真帳	
	建物診断	・劣化診断カルテの結果を反映可能	資料2-4	資料5	劣化位置図	
	電子書庫		資料2-3	資料6-1	整備履歴一覧	主な整備履歴
施設管理	・劣化診断カルテ ・中長期整備計画 ・5ヶ年整備計画 ・マニュアル類 など	資料2-4	資料6-2	整備費用グラフ		
		資料2-5	資料7	修繕改修履歴一覧表		
		資料4	資料8-1	中長期整備計画一覧	中長期整備計画	
		資料5	資料8-2	中長期整備計画グラフ		
		資料6-2	資料9-1	5ヶ年整備計画一覧	5ヶ年整備計画	
		資料8-1	資料9-2	5ヶ年整備計画グラフ		
		資料8-2	資料10	数量・単価根拠資料		
		資料9-1	資料11	設備機器一覧		
		資料9-2				
		連絡先リスト				
日常管理	スケジュール管理、クレーム・不具合管理	資料7				
機器・部材・備品管理	施設の機器・部材を管理	資料11				
保全計画管理	簡易中長期保全計画、詳細中長期保全計画	資料8-1				
エネルギー管理		資料8-2				
複数施設総合評価・分析	エネルギーコストなどを複数の施設間で比較					
保全技術者情報等提供機能	利用者のデータをマクロ的に分析した結果など掲載					
会計情報出力	土地、建物、付帯設備固定資産CSV出力 減価償却計算					

図 5 作成データとBIMMSの比較

図に記載の資料1～11は「9.参考」-「9.1対象データイメージ」を参照

8.3 機能要求とBIMMSの比較

機能要求とBIMMS機能有無の比較を以下に整理する。機能要求に対して、BIMMSで概ね対応できるものと思われる。BIMMSには「N04 5ヶ年整備計画管理機能」、「N08 図面管理機能」はないが、電子書庫機能で代用が可能である。また、「N014 整備時期超過のアラート通知」は機能としてないが、Excelファイル出力により耐用年数と経過年の比較をすることが可能であるため、運用でカバーできるものと思われる。

「N013 固定資産台帳」は、現時点で連携するような機能はないが、開発元で重要事項として検討が進められており、将来的に機能が実装される可能性がある。

表 6 機能要求とBIMMSの比較

NO	重要度	区分	要求機能	BIMMS 機能有無	BIMMS 該当機能
1	A	基本情報	施設台帳管理	有	土地基本情報 建物基本情報
2	A	基本情報	建築部位・設備機器台帳	有	土地基本情報 建物基本情報
3	B	保全情報	エネルギーデータ・コスト管理	有	エネルギー管理
3	A	保全情報	詳細中長期保全計画(詳)	有	保全計画管理

			細 LCC)		
4	A	保全情報	5ヶ年整備計画管理機能 (ファイルの保存、閲覧)	無	電子書庫機能で代用可能
5	A	保全情報	工事履歴情報管理	有	工事履歴
6	A	保全情報	定期点検・保守などのスケジュール管理	有	日常管理 (スケジュール管理、クレーム・不具合管理)
7	A	保全情報	劣化診断結果管理	有	建物診断
8	C	参照機能	図面管理	無	電子書庫機能で代用可能
9	C	参照機能	マニュアル管理	有	電子書庫機能で代用可能
10	A	メンテナンス機能	データ一括登録	有	システム連携 (インポート)
11	A	メンテナンス機能	ユーザー管理	有	環境設定 (ユーザー登録)
12	A	分析機能	検索結果を Excel 一覧出力	有	各機能の印刷機能
13	B	連携機能	固定資産台帳との連携	無	現時点で機能はないが、開発元の重要項目として検討されており、将来的に実装される可能性あり。
14	B	通知機能	整備時期超過のアラート通知	無	通知機能はないが、機器・部材・備品管理の印刷機能で出力された Excel ファイルより確認が可能。

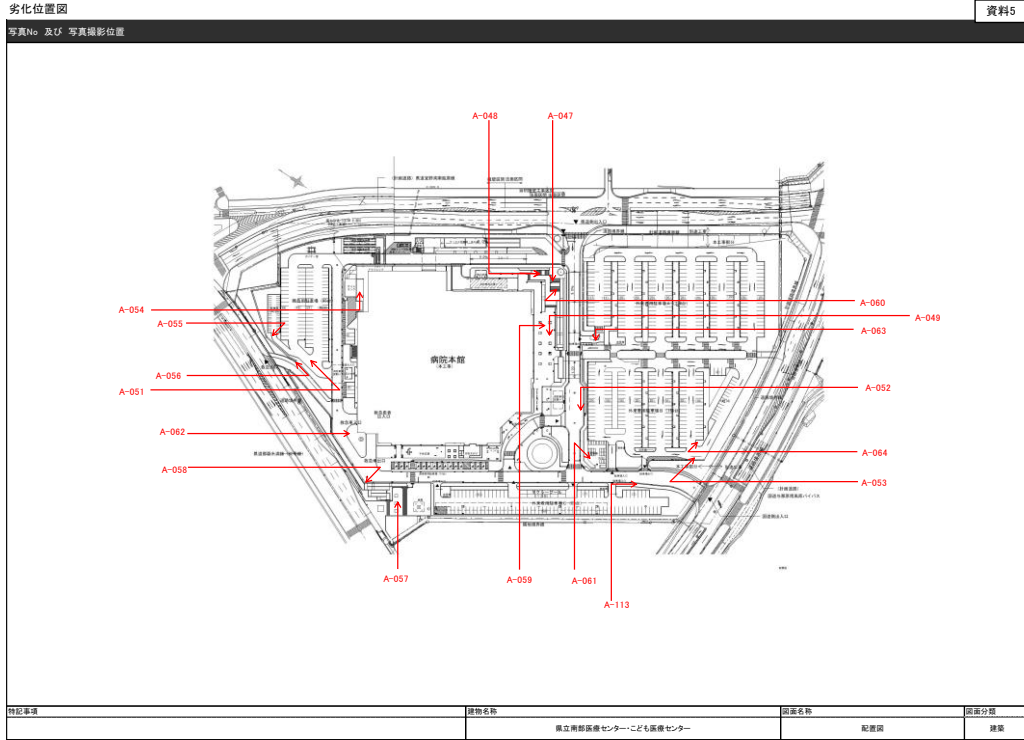
● 資料3：調査シート

調査シート(建築)					資料3				
建物名		点検年月日		調査担当者(建築仕上げ)		立会者	資産コード		
県立南部医療センター・こども医療センター		平成26年11月28日～12月1日		高宮		秋志様	0		
大項目	中項目	小項目	点検対象	劣化現象	診断			危険度	備考(現状確認によるコメント等)
					A健全	B劣化小	C劣化大		
建築	屋根	屋根防水+押えコン	○	【判断基準】欠損、剥離の有無 押えコンクリートのひび割れ 【判断基準】ひび割れ長さ30cm以上 目地の異常(ひび割れ、欠損、雑草) 【判断基準】異常の有無 経年 【判断基準】A:10年未満 B:10年以上～30年未満 C:30年以上	○		1	【場所、エリア等】 塔屋階、屋上階、6、5、4、3、2階 【写真NO】 A-001～A-008 【所見(コメント)等】 3階防水押えコンクリートの剥落が見られる。 3、6、屋上階の押えコンクリートにひび割れが見られる。 3、屋上階の目地に雑草の発生が見られる。 2014年11月定期報告書で3階屋根、屋根防水押えコンクリート剥落の報告がある。	
		屋根露出防水		防水層の剥がれ 【判断基準】剥がれ幅10mm以上 防水層の亀裂 【判断基準】微細なひび割れ 防水層の膨れ 【判断基準】膨れ径10cm程度 経年 【判断基準】A:5年未満 B:5年以上～20年未満 C:20年以上				【場所、エリア等】 【写真NO】 【所見(コメント)等】	

● 資料4：劣化状況写真帳

	No	A-001
	階	塔屋3階
	部屋名	高架水槽置場
	部位	屋根防水+押えコン
	コメント	屋上全景
	No	A-002
	階	塔屋2階屋上
	部屋名	EV機械室屋根
	部位	屋根防水+押えコン
	コメント	押えコンクリート表面 剥離

● 資料5：劣化位置図



● 資料6：主な整備履歴

沖縄県立病院の主な整備履歴一覧

※記載内容は、沖縄県立病院年報(平成25、26年度版)の情報に基づき。

病院名称	事業名称	工期		事業完成年度		事業概要	概算事業費(千円)	新築と改修の区分
		(起工)	(竣工)	(起工)	(竣工)			
北部病院	病院増築	S45.11.11	1974.11.11	S48.12.25	1974.12.25	昭和49年度 1975年度 RC造2~4階(一部鉄骨)4,750㎡、精神科棟337.08㎡	489,993	1
	病院増築追加	S48.11.20	1974.11.20	S50.9.20	1975.9.20	昭和49年度 1975年度	88,427	1
	新築住宅新築	S49.2.1	1974.2.1	S49.9.20	1974.9.20	昭和49年度 1974年度 RC造2階、延145.74㎡(82.87×2)	16,851	2
	ボイラー増設	S49.2.20	1974.2.20	S49.11.20	1974.11.20	昭和49年度 1974年度	15,850	2
	電気設備増設	S49.3.12	1974.3.12	S49.11.20	1974.11.20	昭和49年度 1974年度 比2400kVA、電力6,000V	34,500	2
	放射線診断装置	S50.1.27	1975.1.27	S50.8.28	1975.8.28	昭和50年度 1975年度 RC造2階(12室)、延205.84㎡	33,488	1
	中央空調	S50.3.24	1975.3.24	S50.8.28	1975.8.28	昭和50年度 1975年度 RC造2階(12室)、延205.84㎡	8,472	2
	設備改修	S51.3.10	1976.3.10	S51.3.20	1976.3.20	昭和51年度 1976年度 シンプ小室(3.84m、受水槽104.42)	2,900	2
	新築住宅新築	S50.8.28	1975.8.28	S50.12.20	1975.12.20	昭和50年度 1975年度 新築住宅RC中層、延68.14㎡	13,024	1
	10新築住宅新築	S51.11.20	1976.11.20	S51.4.20	1976.4.20	昭和51年度 1976年度 RC造2階2棟、延327.84㎡(143.52×2)	44,950	1
	11付帯設備増設・改修工事	S51.3.10	1976.3.10	S51.3.20	1976.3.20	昭和51年度 1976年度	1,834	2
	12新築ガス配管改修工事	S51.7.26	1976.7.26	S51.9.8	1976.9.8	昭和51年度 1976年度 2階・半地下、2階・未熟汚水ライン設置(但し1階~3階の一部は既存、実気・暖ヒラインの配管設備のみ)	5,034	2
	13消防防災設備	S51.10.23	1976.10.23	S52.2.28	1977.2.28	昭和51年度 1976年度 自動火災検知器・非常放送設備・消火栓(2階)	11,230	2

● 資料7：修繕改修履歴一覧表

建築設備・施設設備・修繕・改修履歴一覧表

沖縄県立南部医療センターこども

資料7

日付	機器名称	接地場所	補修内容	確認者
H20.9.3	フジテックEV	全号機	非常用通報装置の通話不能でメーカー来院しチェック。	赤嶺
H20.9.12	ペイント	4F小児病棟ベランダ	防水ペイントはがれ確認。(国建 新元氏)	赤嶺
H20.9.12	フジテックEV		非常用通報装置通話不能の報告書を提出。	
H20.9.12	煤煙濃度測定器	ボイラー室	ばい煙濃度測定。	
H20.9.13	EV No.7	厨房	稼働せずインターホンも不良の為点検。(沖縄)エレベーター工業	我如古
H20.10.3	保温材	3F・4F小児	国場組 大城氏、3FISS天井保温材一部はがれと、4F小児病棟ベランダ防水塗料はがれ確認。	赤嶺
H20.10.10	警報	免震層	雨水排水(ドライエリア内)満水警報、泥を除去後良好。	赤嶺 宮里 荷川取
H20.10.18	EV		エレベーター点検。(沖縄エレベーター保守組合)	
H20.10.18	緊急電話		災害用緊急電話回線増設工事(沖縄エジソン)	
H20.10.28	防音材	M4	国場組 大城氏、M4天井材(防音材)はがれ	赤嶺
//			業者と確認(修理の為)来院、後日連絡予定。	

